

会議録（要約）

分科会長	協議事項について事務局より説明願います。
事務局	<資料に基づき説明>
分科会長	ただいま事務局から説明がありましたが、皆様方のご意見等あればお願いします。
東海農政局	<p>海津市は観光名所、地域資源、いろいろなものがあります。そういったものを組み合わせながら今後勉強されたいと思います。</p> <p>海津市は、滞在型の農村漁村ということで体験メニューを考えているのですか。</p>
事務局	<p>日帰り型のグリーン・ツーリズムがありますので、例えば土日になったら土と親しみ、夕方には帰られるといった方法もあるのではないかと思います。そうした中で、農業者が民泊をやるような動きが出てきてもいいのではないかと、また市内に3つ温泉がありますが、そういった温泉施設を利用する事も含めて、そういう輪ができればいいのではないかと考えています。</p>
A委員	<p>他の事例をみると参加費を取っていますが、その参加費と自分が収穫したものが見合わなければ（お客は）来ないのではないかと。またトマトはどう作るのかと聞かれた時に誰が説明をするのか。人を入れると言うことは並大抵の事ではないと思います。</p>
B委員	<p>この分科会で、2年後に完成した報告書をつくるということですか、それとも途中でできることをやっていくということでしょうか。</p> <p>グリーン・ツーリズムというものについて、形を想定する、それを作り上げていくということは大変難しいことだと思います。問題はいかに入り込み客を多くするかということですが、戦略的に考えていくと、200万人の入り込み客が千代保稲荷神社にあるので、そのお客さんがいったいここに来てそれからどこに行くかを調べる。この統計を作って都市連携をする。もう一つは、海津市のメールマガジンを他のとリンクさせてほしいです。いまインターネット時代ですから、これと千代保稲荷、三川公園とかクレー平田とかをリンクさせるとよろしいと思います。</p> <p>また、千代保稲荷を海津市のショーウインドウにする、あそこにきたら何でもある、海津のものが何でも食べられるというように戦略を立てるといいと思います。</p> <p>今あるものを評価して、それをいかに利用して人を呼び寄せるか、こういう戦略を考える。今できることを計画的に作った方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>（2年後）21年3月というのはタイムリミットで、市長に提案する期限だと認識しております。その間にできることがあれば、実証、実験的なこともあるかもしれません。さきほど、B委員が言われた千代保稲荷をショーウインドウにしてはどうかと、そういったことも一つの提案ではないかと思っております。</p> <p>それから入り込み客調査などやってはどうか、といった提案をいただきました。対応</p>

	<p>できるものから対応させていただき、この分科会の席で挙げさせていただいて、みなさんにご判断を仰ぎながら提案をまとめていきたいと思います。</p>
C 委員	<p>いろんな意見の中で私は観光農業のような形がひとつかなと考えています。この地域は農業のプロばかりでございます。そういった方が観光客とかに農業指導をしていただいても十分いけると思います。</p> <p>いま、消費者は食の安全ということに非常にシビアになっています。自分たちで耕作するのも、また無農薬で栽培するのも一つの方法だと思います。</p> <p>この地域（海津市）というのは、農業が一番の主要産業と考えています。その中で色々な事がやれるのではないかと思います。</p>
D 委員	<p>ブルーベリーを作っています。先日、タウン情報誌に無料でブルーベリーの収穫体験ということで載せていただきました。そしたら毎日問い合わせがあり、うちの農園はすでに8月末まで予約いっぱいになりました。名古屋からもみえますので需要はかなりあると感じております。</p>
B 委員	<p>海津市のオンリーワンを探す、まだ意外に発見されていないものがあるのではないのでしょうか。オンリーワンを追求する点でデレーケというのは世界に誇っていい、三川分流をやりました。これは日本の資源、輪中の資源であります。</p> <p>資源としては食べ物、川、それに関わったデレーケ、そういうオンリーワンを是非、紹介して、そういうものを見に来る、というようなことにしていきたい。</p>
A 委員	<p>いまの方は農業に対して分からないことが多い、それを理解をさせてやるところから検討していきたい。また、いまの子供達に農業の魅力を伝えていけたらと思います。</p>
B 委員	<p>地産地消で地域のもを食べていく、この文化を位置づけて進めていただきたいと思います。</p>
東海農政局	<p>はじめは行政主導という形で行政が引っ張っていくと思うのですが、最終的には農業者や団体が協議会を立ち上げてやっていく格好ですので、こういうような話し合いをもって進めていくのがいいと思います。</p>
分科会長	<p>以上をもちまして第1回目の分科会を終了いたしたいと思います。</p>